成 30 年度　兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会報告書

2019 年 2 月 18 日（月）

日時：2019 年 2 月 16 日（土）13：00～17:00
場所：兵庫県学校厚生会館　2 階会議室
主催：兵庫県がん診療連携協議会　緩和ケア部会
参加者：66 名の事前申し込み　→最終 57 名の参加者
（事前キャンセル 1 名、当日欠席連絡あり 1 名、当日欠席連絡なし 7 名
参加者背景：医師 8 名、看護師 35 名、薬剤師 7 名、臨床心理士 5 名、歯科衛生士 2 名

コアファシリテーター　（敬称略　順不同）

	氏名	所属施設名	役割
1	池垣　淳一	兵庫県立がんセンター	緩和ケア部会部会長
2	松田　能宣	近畿中央呼吸器センター	講義　終末期におけるせん妄
3	河野　佐代子	慶應義塾大学病院	講義　せん妄に対するディエスカレーション グループワーク
4	河野　伸子	横須賀共済病院	講義　せん妄に対するディエスカレーション グループワーク
5	松田　良信	市立芦屋病院	緩和ケアコアメンバー
6	伊藤　由美子	兵庫県立がんセンター	緩和ケアコアメンバー　ディレクター
7	岡山　幸子	宝塚市立病院	緩和ケアコアメンバー　ディレクター

ファシリテーター　（敬称略　順不同）

	氏名	所属施設名	役割
1	坂下　明大	神戸大学医学部附属病院	ファシリテーター
2	濱中　章洋	兵庫県立淡路医療センター	ファシリテーター
3	木村　祥子	市立西脇病院	協力者
4	吉住　智奈美	兵庫県立尼崎総合医療センター	協力者

タイムスケジュール

2 月 16 日（土曜日）					
開始	終了	時間	内容	形式	担当
12：30	13：00	30	受付	アンケート	
13：00	13：05	5	開催挨拶	挨拶	池垣　淳一 伊藤由美子
13：05	13：25	20	アイスブレイク　自己紹介	WS	伊藤由美子

			終末期せん妄で困ったこと		
13：25	13：55	30	講義　終末期におけるせん妄	講義	松田　能宣
13：55	14：35	40	講義 せん妄に対するディエスカレーション	講義	河野佐代子 河野　伸子
14：35	14：45	10	休憩		
14：45	14：55	10	人的環境としてスタッフが患者の心理・精神状態に影響を与えるということ	講義 (実技)	河野佐代子 河野　伸子
14：55	15：30	35	グループワーク１「息苦しい患者」 ディエスカレーションのロールプレイ１	GW	河野佐代子 河野　伸子
15：30	15：45	15	グループワーク１の共有		岡山　幸子
15：45	15：55	10	休憩		
15：55	16：30	35	グループワーク２「臥床してくれない」 ディエスカレーションのロールプレイ２	GW	河野佐代子 河野　伸子
16：30	16：45	15	グループワーク２の共有		岡山　幸子
16：45	16：55	10	まとめ	講義	河野佐代子 河野　伸子
16：55	17：00	5	アンケート、閉会の挨拶		池垣　淳一

【グループワーク１の共有】

１組目：看護師：シナリオは患者否定することが多かった。

患者役：命令されると怖い、看護師が話しを聞いてくれるので悪い人ではないと思えた。

２組目：看護師役：なぜ混乱しているのか患者カードを見て混乱の理由がわかった

患者役：怒っているつもりはなかったが、看護師は怒っていると映っていた。制止する言葉を乱用していた今までに気づいた

【グループワーク２の共有】

１組目：看護師役：ついてこないでと言われてたじろいだ

患者役：トイレだったので、ついてこないでと言った

看護師役：短い言葉からニーズをキャッチすることの大切さを感じた

【質疑応答】

問：低活動型せん妄の患者への対応はどうしたら良いか？

答：難しい、その人にとっての快刺激を与え、不快刺激を避ける。混合型せん妄の場合は、特に昼間の過ごし方も意識してほしい

以上